

会 議 録

会 議 名	平成 27 年度第 2 回東浦町子ども読書活動推進会議	
開催日時	平成 28 年 3 月 15 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分	
開催場所	東浦町中央図書館 2 階小会議室	
出 席 者	委 員	青木美奈子氏（委員長）、奥田英子氏（副委員長）、梶山博史氏、恒川里美氏、松下玲子氏、鷹見みゆき氏、仲川貴子氏、山本恵理氏
	事務局	成田図書館長、大塚係長、万徳図書館指導員
議 題	1 平成 27 年度活動実績について 2 その他	
傍聴者の数	1 名	
事務局	・平成 27 年度実績報告について、関係各機関の取組を、資料もとづき事務局より説明 ○家庭で不要になった絵本等を、夏と冬のバザーで提供とあるが、本はよく集まるのか。 ○夏はよく集まる。子の成長に伴って不要となった本が多く出品され、母の会の収入にもなっている。 ○保健センターは中央図書館のリサイクル本を利用しているのか。 ・利用しているという話は聞かない。 ○健診時は対象児のほかに兄弟などの年長児を伴う場合が多いので、ブックスタートで渡す本とは別に、待っている年長児に読ませる本があると良い。 ・保健センターと相談し、リサイクル本の活用を検討する。 ・資料には紹介されていなかったが、本年度は「お外も図書館」を秋にも実施した。来年度も実施する予定である。 ○自分も実施に関ったが、石田公園は、木陰も多く虫もあまりいないので、快適であった。砂場で遊んでいる子も手を止めて読み聞かせに耳を傾ける場面もあった。 ○ブックスタートに対する母親の反応はどうか。 ・4 か月児などは、言葉も分からないが、読み聞かせに対する反応はあり、母親が読書の大切さを実感するうえで効果的であった。 ○次年度は1 歳 6 か月児にも絵本が配布されると聞いているが、良いことだ。 ○中学校でボランティアが読み聞かせをしたケースが紹介されているが、どんなグループなのか。 ○武豊町で活躍している読み聞かせグループと聞いている。 ○やり方や内容は学級によって異なるようである。時間内で読めるも	
委員		
委員		
委員		
事務局		
委員		
事務局		
事務局		
委員		
委員		
事務局		
委員		
委員		
委員		

委員	のの朗読であったり、長い本の一部の朗読であったり、絵本を利用するものがあたりとのことである。また、小さい頃読んでもらって思ったことと、再度読んでもらって思ったことの違いを問うものなどもあり、「良かった」「楽しかった」の声が多かったようだ。
事務局	○次年度は和室が「居場所づくり」として利用されるようだが、漫画本ばかりでなく、一般図書も置いてはどうか。
委員	・一般図書の設置も検討したい。
事務局	○全体的に推進計画を達成できたものと達成できなかったものが分りにくい。次年度はそういった点も分かりやすくしてほしい。
委員	・「課題と成果」的に分かりやすくなるよう努力したい。
委員	○学級文庫充実のために中央図書館が閉架書庫の本を貸し出す事業では、大変成果が上がっている。目新しい図書に多くの子どもが関心を寄せ、読んでいるようだ。ただ、学校が心配するのは借用本の紛失である。自分の学校では、中央図書館の本とそうでないものを、シールを貼ったり、書棚を決めたりし、しかも学年での管理体制をとってきた。この方法は効果的で幸い紛失はなかった。
事務局	○図書館サポーターについても大変助かっている。中央図書館での打合せ会の時などに、教師による読み聞かせのための図書を借りてきてくれたケースもあった。今後も図書館サポーターも積極的に活用していきたい。
事務局	・学校の図書委員などの児童生徒向けに、中央図書館の司書を派遣し、図書修理の研修を実施することも可能である。必要があれば申し出をしていただきたい。